

# ケアホームだより

(株)大阪ホームケアサービス

072-931-2355

ケアホーム羽曳が丘

ケアホーム春日丘

ケアホーム西羽曳が丘



平成24年

4月号



西羽曳が丘

寒さもずいぶんと緩んだお天気の良い日に、お食事処に出かけました。お店の窓から見える梅の花を觀賞しながら、お話にも花が咲き、楽しい一時を過ごされました。ボリュームたっぷりのメニューでしたが皆様、見事に完食

## 5月の予定

1日 お誕生日会

5日 端午の節句

## お食事会に出かけました



羽曳が丘

されました。  
満足、満足・・・。  
今回のお食事会に参加されなかった方も、お花見や、近くの公園で散歩し軽食を召し上がっていただくなど、春を感じていただけるよう企画しています。ご様子など、次月号で報告させていただきます。



春日丘

## 介護技術スキルアップ研修

3月22日「介護技術スキルアップ研修」を開催いたしました。  
職員45名が参加し、チームケアについてのグループワークを行い、利用者様が安心してお過ごしいただけるためには、チームケアの連携をスムーズに行うことが大切であることなどを話し合いました。  
研修で学んだことを活かし、安心できるケアホームでの生活を提供できるよう今後も取り組んでまいります。

様

### 相談窓口 お気軽に相談ください

羽曳が丘	ホーム長	池田	主任	塚本
西羽曳が丘	ホーム長	大西	主任	笠間
春日丘	ホーム長	吉村	主任	平井

担当



# 感染症対策



ハートケアグループでは、感染症（インフルエンザ、結核、ノロウイルス）発生時（疑われる場合も含む）の対策マニュアルを作成しています。感染者が、ご利用者・職員・職員の家族の場合を想定し、それぞれに連絡・対応・指示系統を確立しています。感染の予防に努める事はもちろんですが、感染症発生時には、記録（時系列での発生状況及び症状・検査・経過の記録シート）、連絡の流れ（現場からサービス部長・安全対策部へ、ご家族へ）、安全対策部の対応、関連医療・行政機関や保健所への連絡、指示等をフローチャートで明確にしています。そして、感染拡大を防止するため、スピーディに適切な対応ができる体制を整えています。

さて、感染症の概要とケアホームでの感染症の予防と対策についてお知らせいたします。

	インフルエンザ	ノロウイルス	結核
症状	突然の高熱、悪寒、頭痛、背中や四肢の筋肉痛、全身倦怠感、喉の痛み、咳、痰など	下痢、嘔吐、吐き気、腹痛など	咳、痰、発熱（微熱）などが長く続く 体重減少、食欲不振、寝汗をかく
感染経路	飛沫感染、接触感染 空気感染	経口感染、接触感染 飛沫感染、空気感染	飛沫感染、空気感染
潜伏期間	1～3日	1～2日	数ヶ月から年単位
治療	発症後4～8時間以内に抗ウイルス剤の服用	吐き気止めや整腸剤などの飲み薬や、脱水症状に伴う点滴などの対症療法	排菌している場合は入院治療、排菌していない場合は通院治療 6ヶ月間の抗結核薬の服用
予防	流行前にワクチンを接種 人混みを避ける 外出後の手洗いとうがい 適温適湿（湿度50～60%） 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取	食品は85度以上で1分以上の加熱 流水・石鹸による手洗い	免疫力が低下しないように、適度な運動、バランスの良い食事、十分な睡眠をこころがける 定期健康診断
ケアホームでの予防と対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 体調の悪い方の面会は、ご遠慮いただくよう玄関先に掲示する</li> <li>● 面会者には、必要な場合はマスクと手指消毒を徹底してもらう</li> <li>● 職員は適宜、手指消毒の小瓶を持ち歩き、消毒をこまめに行う</li> <li>● 入居者が感染した場合別室に隔離 介助は担当者を決める 予防着を着用し、介助後は手洗いを徹底する。 特に同室のご利用者は容態変化を観察する</li> <li>● 職員が感染した場合解熱後4～8時間経過後までは出勤停止</li> <li>● 家族から感染者が出ている職員は、始業前にはバイタルチェックを行い、腎不全、呼吸疾患、重篤な心疾患を持っているご利用者には接しないことはもちろん、利用者に接しない関係業務に就く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 普段から塩素水で噴き掃除をする</li> <li>● 入居者が1回でも嘔吐すれば、最悪の状況を想定して対応する。別室に隔離し、報告する。医療機関に連絡し、医師・看護師の指示を仰ぐ。</li> <li>● 感染した場合、保健所の指示に従い感染拡大防止に努める</li> </ul> <p>感染者の便、嘔吐物、汚れた衣類は、使い捨てのビニール袋、マスクを使用して、乾燥させないように直ぐに処理する 使い捨てのものは、使用後すぐにビニール袋に入れ、さらに塩素水を入れ密封して処分する 衣類は他の衣類と分けて洗う 嘔吐物などで汚れたところは、塩素水で拭き取る 閉鎖的な室内は換気する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 入居前には、診療情報提供書の感染症検査項目の確認をし、協力医療機関で、血液・レントゲン・心電図の検査をし、感染症をホームに持ち込まない</li> <li>● 咳・痰・微熱が続くようなら、看護師に報告し様子観察し、検査を行い、医師の判断に従う（入院・服薬等）</li> </ul> <p>手洗いで、汚れが残りやすいのはここ！</p>

ご家族の皆様も、感染症をケアホームに持ち込まないよう、ご協力よろしくお願い致します。